

【商業科・事務情報科】 2年次 【必修・選択】 科目「実用書道」授業のシラバス

1 概要

教科名	芸術	科目名	実用書道	単位数(コマ数)	2(78)
科目の目標	実用的な書道の幅広い活動を通して、日常生活の中の様々な場面に対応する書写能力、表現能力を高める。				
教科書(出版社)		副教材(出版社)	くらしのペン習字(教育図書)		

2 学習の方法

(1) 予習について

授業の始めに毎回5～10分程度の小テストを行います。前時の授業で小テストの範囲を確認するので、各自予習をしてください。

(2) 授業について

前期は硬の基本から学び、確実な硬の力をつけていきます。後期はペンを中心とした毛の書を学び、硬とは違う線の書き方を身につける学習をします。毎回授業の始めに小テスト、授業の最後に本時の授業内容の復習テストを行います。授業中の私語は厳禁です。ただし発問やグループワーク等の場合は、授業の内容について発言・相談を積極的に行ってください。※前期は2B以上の鉛筆を使用します。各自準備をお願いします。(

(3) 復習について

授業の最後に、その日に行った内容の確認課題を解いてもらいます。難しいものではありませんが、授業に参加していないと解けません。

〈学習アドバイス〉

「書く」ことが中心になりますが、「ただ書けばいい」という訳ではありません。文字造形に対しての知識をしっかりと身につけた上で、上達を目指してください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 書への関心・意欲・態度	・宿題をこなしたうえで小テストに臨もうとする。 ・字形の美しさや美しく書くことについて理解を深め、意欲的に取り組もうとする。
② 書表現の構想と工夫	・点画や線の方向、字形の細かいところに留意し、自ら美しい字を表現する。
③ 創造的な表現の工夫	・書くものに合わせた字体や構成を掴み、表現する。
④ 鑑賞の能力	・自身や他者の作品を客観的に観察し、その特質を的確にとらえ、自己の創作活動に生かすことができる。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		小テスト		作品制作への取り組み	授業で制作した作品	授業プリント	小テスト・宿題	グループワーク
観 点	割合							
① 書への関心・意欲・態度	30%	◎	書き順の小テスト	◎		◎	◎	○
② 書表現の構想と工夫	35%				◎	◎		○
③ 創造的な表現の工夫	30%				◎	◎		○
④ 鑑賞の能力	5%			○				○

〈担当者からのメッセージ〉

定期考査は実施しませんが、毎時間小テストを行います。小テストと授業での取り組み、提出課題で評価をします。「字を書く」とは、生涯続くことです。また、書いた字によって、見る人の印象を大きく左右します。地道に「字を書く」練習をしていきましょう。

【商業科・事務情報科】 2年次 【必修・選択】 科目「実用書道」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	(1)オリエンテーション (2)用具・姿勢・基本練習 (3)硬筆の書	1 1 35	○楷書の学習 ・基本点画の書き方 ・部首・部分と文字の構成 ・字形を整える ・点画の変化と字体	① ② ③	・楷書における美しい文字の形成を客観的に理解し表現するための取り組みができた。 ・基本的な用具の扱いや線の書き方を理解することができた。 ・点画や部首、字形を適切に理解し、表現することができた。 ・字形の特徴や線の書き方を理解したうえで、紙面に合わせた表現をすることができた。	漢字の書き順の小テスト(毎回)
5						
6						
7						
8						
9						
後期 10						
11						
12						
1	(4) 毛筆の書	25	○楷書の学習 ・ペンの持ち方、扱い方 ・基本点画の書き方 ・文字造形の捉え方 ・字形の整え方	① ② ③	・筆ペンでの美しい文字の形成を客観的に理解し表現するための取り組みができた。 ・基本的な用具の扱いや線の書き方を理解することができた。 ・点画や部首、字形を適切に理解し、表現することができた。 ・字形の特徴や線の書き方を理解したうえで、紙面に合わせた表現をすることができた。	
2						
3						
4						
5	(5) 日常の書	16	○仮名の学習 ・ペンによる平仮名 ・片仮名の学習	① ③ ④	・漢字仮名交じりの書の表現に関心を持ち、意欲的に取り組むことができた。 ・効果的に表現するため、文字の大きさや配置、行の長さや行間を工夫することができた。 ・文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた表現の技能を身につけることができた。	
6						
7						
8						
計		78				

※ 観点別評価①は書への関心・意欲・態度、②は書表現の構想と工夫③は、創造的な書表現の技能、④は鑑賞の能力を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。